

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年10月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690102084
法人名	医療法人 徳洲会
事業所名	医療法人徳洲会グループホーム東谷山
所在地	鹿児島県鹿児島市東谷山2丁目49番10号 (電話) 099-260-8200
自己評価作成日	令和2年8月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年9月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・生活支援において、ADL自立の方には朝の掃除や軽作業を取り組んで頂くことで残存能力を活かせる様支援している。
 ・レクリエーション時には、毎月壁画を作成し、その方に応じた毎日の体操、食事前には嚥下体操に誤嚥予防などに努めている。
 医療面では、訪問診療による24時間体制をとっており訪問診療時には調剤薬局の薬剤師も同行しており、処方が変わった時には、すぐに対応出来るようにしている。今年2月までは、訪問歯科や、訪問マッサージの方々も入り、その方の状態に合わせた支援をしている。(現在はコロナウイルスにより休止)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは谷山地区の交通量の多い幹線道路沿いに建てられ、元々はクリニックであった3階建てビルの2階と3階にユニットがある。周囲には建物が立ち並び商業施設も多く、JRや市電等の交通の利便性の良い環境にある。

「家庭的な環境の中で、一人ひとりの個性と思いを大切にその人らしい生活を支援する」という理念を掲げ、利用者にとってホームはあくまでも自宅であることを念頭に置いて、一人ひとりに敬愛の気持ちで寄り添いながら日々の支援に取り組んでいる。

管理者は出勤後、ユニット毎に連絡ノートに目を通してホームの状況や職員の意見・提案等を確認し、個人面談も実施予定である。利用者の人格を尊重して自立を支援するために、職員との信頼・協力関係を大切にコミュニケーションを円滑に図り、働きやすい職場環境の整備に努めている。職員は利用者がその人らしく生活できるように、残存機能を発揮して新しいことに挑戦できるように工夫を凝らし、充実したケアが実践できていると感じている。

利用者の殆どが協力医療機関を主治医としており、24時間の連携体制のもとに訪問診療・訪問看護・訪問歯科診療等により充実した健康管理が行われており、安心して毎日を過ごすことができています。重度化への対応としては、数年前に看取りの実績があり、医師や看護師等を含めた関係者間で十分検討してチームで支援する体制が構築されており、勉強会を実施して職員のスキルアップや不安の軽減が図れるように取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を職員全員で確認し、地域生活の継続的支援と事業所の理念を大切にしている。	ホームでは、家庭的な雰囲気の中で利用者一人ひとりの個性を重視したケアを目指しており、令和2年4月にグループ理念を基に作成した理念を事務室やエレベーター入口に掲示し、スタッフ会議で唱和して意識付けを図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入して、老人会などの行事、近隣公園の清掃活動への参加を通じて活動に参加出来ている。	町内会に加入し、管理者が地域の清掃活動等に参加することにより、町内会長や民生委員をはじめ地域住民との交流に努めている。ボランティアや学生の受け入れはコロナウイルスにより中断しているが、例年は積極的に受け入れて交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議の機会に民生委員や町内会長の方々へ、入所中の認知症高齢者の状況を説明し理解と協力を得ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	包括支援センタースタッフや町内会長、民生委員、入居者家族等との意見交換を行い利用者へのサービス向上につなげられるよう取り組んでいます。	運営推進会議は2か月毎に開催し、職員・家族・行政職員・民生委員等の参加を得て活発な意見も出されており、サービスの向上に反映させている。現在はコロナウイルスの影響により職員のみで実施し、議事録を職員間で回覧して情報共有に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>市の保護課、市社協福祉サービス支援員と緊密に連絡を取り、ホーム便り等での日常のケアサービス実施状況を伝え、協力関係構築に取り組んでいます。</p>	<p>市担当者とは生活保護受給中の利用者への対応や、電話での相談等を通して適切な助言・指導を得ており、市社協とは日常生活支援事業において金銭管理等の面で支援員と連携を密に図るなど、日頃から協力関係の構築に努めている。市主催の研修会等にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>施設内の勉強会を随時行い、身体拘束のないケアに取り組むことができている。また、安全・安心を提供できるように心がけている。</p>	<p>「身体拘束等適正化のための指針」を令和2年4月に作成し、適正化委員会を3カ月毎に開催して職員の認識を深めている。特に言葉による拘束については表現方法を変えたり、職員間で注意喚起しながら、拘束をしないケアの必要性を重視して実践に取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待は行われていない。勉強会を行い、職員一人ひとり「虐待とは」を理解し、ケアに努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>市の社会福祉協議会の行う福祉サービス支援事業を活用し、利用者の権利擁護に勤めたり、生活保護課担当者との意見交換を適宜行い対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時は契約書、重要事項を利用者、家族に理解、納得できるまで説明を行っている。意見や疑問点について伺い、十分な説明を行い、解約後の相談についても可能な限り応じている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付窓口や苦情受付のBOXなどを設置している。契約書においても行政の苦情受付機関明記で外部の受付先も案内しています。</p>	<p>利用者や家族の意見・要望は、日頃から話しやすい雰囲気作りに配慮し、「ご意見BOX」も設置しているが、面会時に直接話を聞くことが多い。家族向けのアンケート調査を年1回実施したり、出された意見等はすぐに改善できるような体制作りに努め、サービスの向上に繋げている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフ会議や日々の業務の中で意見を聞き改善に努め、管理者はそれらを聞き、可能な限り反映させている。</p>	<p>管理者はユニット毎に記載された連絡ノートや週1回のスタッフ会議・申し送り・休憩時間等を通して得られる職員からの意見や提案について、協議しながら業務に反映させ、働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>管理者は、職員が働きやすい環境を心がけ公私の問題等の相談も受け、業務に対する向上心を持てるよう勤務状況も考慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内での勉強会のほか、施設外の各種研修を案内し、重要な研修等においては業務として参加できる機会を設けている。月に一度勉強会を行い、質の高いケアの実践につなげられるよう取り組んでいます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>現在はコロナウイルスでできていないが、2か月に1回複数事業所で行う合同研修を通じ、同業者との交流ネットワークを作ること、質の高いケアサービスが反映できるように取り組んでいきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>面談時、不安や悩みを傾聴して安心して生活できるように心がけている。また、随時、声掛けを行い信頼関係が構築できるよう努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族と事前に意見や要望を聞き、安心していただけるように柔軟な対応に心がけている。また、随時、声掛けを行い信頼関係が構築できるよう努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人やご家族が必要とする支援を見極め、必要に応じて他のサービスの利用等、改善に向けた支援の提案をしています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>残存機能を最大限に活用し、その人らしく生活できるように、洗濯物をたたんだり手伝ってもらうなどして協働している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日ごろの状態を月一度のホーム便りにて報告するとともに出来事や気づきをその都度連絡することで日常を共有できるように家族との関係性を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、知人の面会時にはゆっくりできるように対応している。(現在はコロナ対応の為携帯の利用、ホームの連絡を取るなどの支援を行っている。)	家族は遠方にいる方々が多いが、往來が可能な家族は利用者の受診に併せて一緒に外食を楽しんだり、自宅へ外泊する利用者もある。2カ月毎に訪問美容を利用している利用者も多い。コロナ禍の中で、家族との面会は時間制限のもとで十分配慮しながら実施されている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクレーション時、居室に閉じこもりにならないように声かけ行い、他入居者との交流の機会を設けることができている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今後、契約終了しても暮らしの継続性が損なわれないように要望に応じて連絡、支援に努めていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向を確認し、無理強いすることなく本人のペースで生活できるように心がけています。	ホームへの入居前相談でアセスメントを行い、利用者及び家族の思いや要望は日常生活や会話を通して把握に努めている。利用者の個別的な状況に沿ってできることはやってもらい、生活に張り合いを持たせ、一人ひとりに行き届いたケアができる支援を目指している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報提供や本人、家族からの聴き取りによりこれまでの生活環境やサービス利用の経過把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その時々により心身状態、活動状態に変動が見られるので、日常の状況から総合援助につなげています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族、主治医、介護職など関係者の意見を総合的に検討し、作成できている。	利用者についての十分なアセスメントを基に、利用者・家族・主治医・職員等が本人の望む暮らしの実現のために、利用者の状況に合わせた支援方法について話し合い、介護計画を作成している。3カ月毎にモニタリングを、6カ月毎に目標の見直しを行ない、状態変化時には随時計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアの実践結果、工夫、気付きの情報を共有し日々の介護計画の見直しに活かしています</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>各種手続きや物品購入など、家族の負担を考慮し柔軟な対応に努めています</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>市生活保護課、市社協等と本人の状況に合わせて対応しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族の納得される主治医と定期的または、随時、連絡をとり適切な医療が受けられるように支援できています。</p>	<p>利用者の殆どが協力医療機関を主治医としており、月2回訪問診療が行われ、24時間の連携体制が構築されている。週1回は訪問看護師により健康チェック等が行われ、希望者は訪問歯科診療を受けることもできる。他科受診は家族同伴を原則としているが、家族が対応できない場合は職員が同伴している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医療機関の訪問診療時、医師や看護師に報告や相談出来ている。また、訪問看護への報告・相談し、適切な受診や看護が受けられるよう支援しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>情報と状態の報告を行い適切な治療がスムーズに行われるように支援していく。また、退院へ向けての受け入れ態勢も随時、検討している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居に際して緊急時、重症化、終末期のあり方や方針の共有が行えるようにしています。</p>	<p>「重度化した場合における(看取り介護)指針」について入居時に説明し、同意を得ている。実際に重度化した時点で主治医を中心に話し合い、チーム支援ができるよう取り組んでいる。過去の看取りの事例を引用した勉強会を実施し、職員のスキルアップや不安の軽減を図っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時の対策マニュアルを作成し、応急手当や初期対応の勉強会を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の消防隊と密接に連携して防災訓練を行っています。又、非常食の備蓄を揃え災害対策を行っています。</p>	<p>年2回、夜間想定も含めた防災訓練を実施し、そのうち1回は消防署と合同で実施している。ホームは建物の2階と3階に位置しており、避難経路は内階段を利用し、階段の途中には水・レトルト食品等が備蓄されている。熊本地震時を参考にして介護計画書1表の下方に災害時の避難場所を記載しており、研修会等で他ホームの共感を得ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを尊重し、自尊心に配慮した言葉かけや対応を行っています。	利用者に対する尊厳や誇りを傷つけない対応として、馴れ合いの言葉遣いにならないよう配慮したり、不適切な発言を使わないよう気を付けている。トイレ誘導はさりげなく声をかけ、トイレ内介助では大声を出さないなど、適切な配慮で支援に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	それぞれの希望、要望が表出できるよう日常の表情や感情を汲み取り、また、傾聴し本人の判断、意思決定を尊重し納得した暮らしが送れるような支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の体調やペースに応じた生活を尊重、優先して過ごしていただけるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の好みを優先し衣類の選択していただいたり、理美容は馴染みの場所や訪問カット利用時も本人の要望にできるよう支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	咀嚼嚥下状態に合わせ形態を工夫し、残存機能をいかし、片付けやテーブル拭きなど個々の能力をいかしています。	ご飯・みそ汁・デザートは各ユニットで作製、主菜は外部業者に委託しているが、利用者の状態に合わせて刻んだりミキサーにするなど、ひと手間かけている。食前には口腔体操を行い、利用者は下ごしらえ、お盆・テーブル拭き、下膳等を手伝っている。家族が持ち込んで一緒に食べることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分などの摂取状況を把握・管理できている。摂取状況に応じて声かけし促しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアや訪問歯科により管理ができている。また、介助の必要な入居者に対して適切なケアが随時できています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	リハビリパンツや尿取りパットを使用している入居者に対し随時トイレ誘導・声かけを行い、失敗が無いよう心がけています。	可能な限りトイレでの排泄を支援している。「入居者の日常生活での水分摂取量」を活用し、経口補水液を手作りして脱水予防には特に配慮している。下剤を使用している利用者もいるが、食事や水分補給・野菜ジュース等の摂取に努め、水分での摂取が無理な場合はゼリー状にして摂取できるようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況の把握に努め、水分摂取や運動を促している。個々の状態に応じて下剤の服用を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>見守りを行い安心して入浴できている。時間帯に関してはホーム指定だが、曜日や回数については可能な限り希望に添うように支援しています。</p>	<p>週3回、午前中に個浴で実施しているが、失禁した場合等は必要に応じて柔軟に対応している。特に安心・安全に入浴するために、2人介助する場合もある。入浴剤を使用したり音楽を聴くなどくつろげるように工夫し、シャンプー等は本人の好みの物を使用している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>今までの生活習慣を尊重し、本人のペースで可能な限り生活していただけるように心がけています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>主治医・薬剤師への相談、指示により症状変化の把握に努めています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ホーム内活動でも個々の役割を持っていただく事で張り合いや自信をつけてもらい、趣味や楽しみを取り入れ、気分転換ができるように支援しています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望があれば、体調や気候を考慮し可能な限り散歩や買い物へ出かけられるようにしている。(現在はコロナ対応の為に行っておりません。)</p>	<p>これまでは近隣への散歩や公用車を使って少人数で外出することもあったが、コロナ禍において外出が難しくなり、利用者からの外出の希望が特に増加してきている。現時点では、敷地内の花壇や玄関先まで出る程度となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個々の力に応じ自己管理可能な方には所持していただき、物盗られ妄想の強い方にはホームにて管理し、外出時や買い物時に使っていただいています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀状や個人別にグループホーム便りにて近況報告を出したり、いつでも電話のやり取りができる様支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間には自由に過ごせ、不安な音や光、冷暖房の風を受けないよう配慮し、生活感や季節感を感じる観葉植物や装飾等を施し、心地よく過ごせるよう工夫しています</p>	<p>エレベーターを降りるとユニット毎に玄関がある。廊下や壁には折り紙等で作られた作品が掲示され、季節の行事をイメージできる空間となっている。日付や食事のメニューがわかるように記載され、テレビやソファも機能的に配置されて、ゆったりとくつろげる環境となるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりの決まった場所(椅子)があり、テレビ視聴や他入居者と会話して自由に過ごされています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室に家族の写真等を飾ったり、使い慣れた家具や馴染みの物が持ち込まれ、安心して過ごせる環境を提供出来ています。仏壇を持ってこられた方もいます。</p>	<p>明るく清潔感のある居室にはエアコン・ベッド・タンスが備えられており、腰高窓からの採光は十分で、居心地よく過ごせるように配慮されている。写真・家具・テレビ等利用者の馴染みの物を持ち込んで、自宅と同じように本人らしく暮らせる居室となっている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全で自立した生活が送れるよう、手すりや設置し、身体機能の維持・向上に努めています。個々の動線を考え家具の配置、座席を決めています。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない